

学校教育と民間教育を繋ぐ ICT環境整備の推進について

2019年10月11日

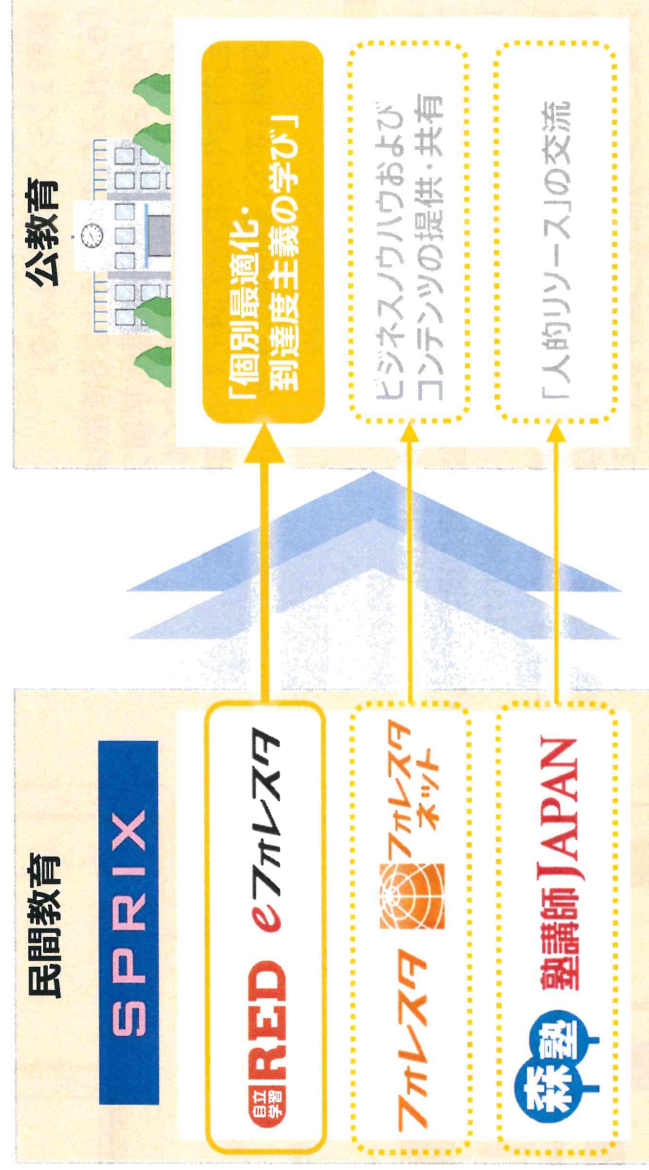
全国学習塾協会 専務理事
常石博之【株式会社スプリックス】



公益社団法人
全国学習塾協会

SPRIX

1. オーバービュー



2. 「自立学習RED」とは



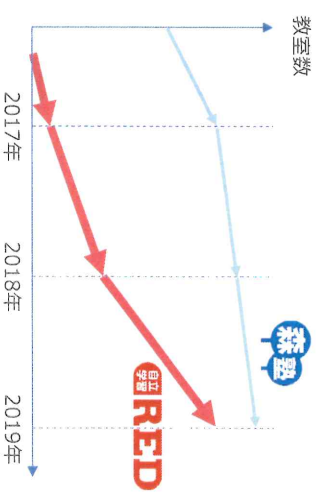
概要

- 自立学習塾とは、集団指導塾、個別指導塾に続く第三の塾形態を標榜するもので両指導塾のメリットをICTを活用することで有機的にブレンドしたもので成績を上げるために重要な「自分から勉強する力」を育て、生徒ひとりひとりの学力に合わせた学習プログラムを提供
- 生徒はタブレットを使いそれぞれのペースで学習を進め、講師は生徒をモチベート、または生徒が分からない際の指導サポートを行なう



実績

- 学習塾における「講師不足→自立学習形態」のニーズ、保護者における「生徒のペースに合わせた学習」ニーズ、を背景に教室数は急伸
- 「自立学習RED」の教室数は、今春開校の20教室を含め、現在80を超え、短期的に100教室を超える見込み



3. 「eフォレスト」とは



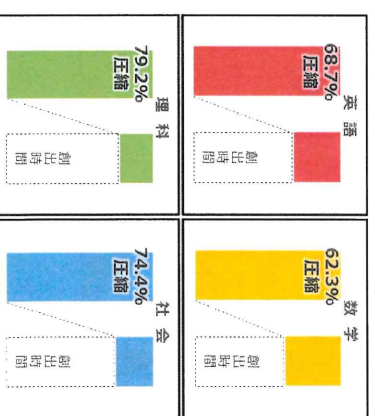
概要

- 「自立学習RED」において、学習プログラムを提供する基幹エンジンが「eフォレスト」
- 「eフォレスト」のポイントとなる特徴は以下の通り
 - ： AIを活用した個別最適化学習プログラム
 - ： タブレットを使用した学習スタイル
 - ： 目的は中学校の定期テストの点数獲得
 - ： 5教科すべて教科書に準拠



実績

- 2018年度『『未来の教室』実証事業』において、学校の先生10名と議論を進め、公教育の現場において「eフォレスト」の活用が可能である、と結論付けた
- また、「eフォレスト」により授業を実践した場合、現在の「標準授業時数」と比べ、理論値ながら、各教科において大幅に授業時間を圧縮することが可能となる
- これにより、探究・プロジェクト型学習、STEAM学習等を導入するための時間創出が実現できる



5. 現在の展開 – 古川黎明中学校

生徒インタビュー



- ・学習スピードはかなり速くなった
- ・分からないところはクリアテストで復習できるから、**理解も深まった**



- ・分かり易く、定着するようになった
- ・とても良いシステムなので、他の学校でもこのシステムを使って欲しい

先生インタビュー



- ・教員はしゃべりたい職業。生徒が集中しているときに邪魔しないという新しいかたちが出来る
- ・「個別学習計画」は、一斉指導の授業に比べ、**生徒自身が自己肯定感を実感している**



- ・「未来の教室」について、まず第一歩として**やってみる**ことが大切
- ・塾で成功しているモデルは間違っていない。**公教育でも実現可能**、ガンガン進めて欲しい

6. 今後の展望

